掛川市議会だより

令和６年８月１日
第91号

令和6年6月
定例会の内容を
お知らせします。

おもな内容

P2 補正予算等の審議内容　P3 審議結果一覧／請願陳情
P4 各常任委員会　年間テーマ　P5 現地視察／議会報告会
P6 意見書／一般質問　P12 今後の議会予定／傍聴席／表紙の説明／編集後記

補正予算の審議内容

令和6年度一般会計補正予算（第２号）の概要

補　正　額	（第2号）	10億6,014万円
補正後の予算額		567億7,335万円

今回の補正第２号は、主に物価高騰対応重点支援給付金給付事業費として国が実施する令和６年度定額減税補足給付金事業実施のための費用や、バス交通等対策事業費として国土交通省「共創･MaaS 実証プロジェクト」を活用した新たなモビリティサービス導入調査委託費、省エネ家電購入補助事業の経費等として活用されます。

物価高騰対応重点支援給付金給付事業費 増

9億7,012万円

国が実施する令和６年度定額減税補足給付金事業のため、給付金および事務費を増額

主な質疑

Q **定額減税補足給付金事業について、対象者数と開始完了時期について伺う。**

A 対象人数は約２万5,000人である。発送作業は７月から開始し、給付完了は11月を予定している。

バス交通等対策事業費 増

2,192万円

国土交通省「共創・MaaS 実証プロジェクト」モビリティ人材育成事業に係る委託料を追加

主な質疑

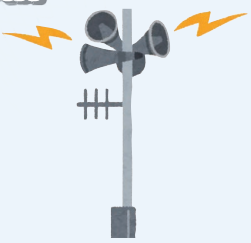
Q **より良い交通サービスの検討をしていく中で、MaaS 構想をどのようなエリアで考えていくのか伺う。**

A 市全域を対象に取り組み、交通弱者や地域部活の問題も含め、事業の推進を考えていきたい。

その他の審議内容

防災行政同報無線設備更新工事請負契約の締結

防災行政同報無線設備更新工事について、NEC 静岡ビジネス株式会社と請負契約を締結



主な質疑

Q **防災行政同報無線が、地域によって聞き取りにくいところがあるが、住民の声をどのように拾い、調査するのか伺う。**

A 電波エリアの調査を行う。不具合のある場合は、スピーカーを高性能にする等対応を検討する。屋外子局での対応が難しい場合は防災ラジオで対応する。

６月定例会における審議結果一覧

審議の結果、予算を１件、条例を５件、その他を９件、人事を７件、報告を２件および意見書を３件議決しました。

■全会一致で可決・承認・同意・受理

予算
- 令和６年度掛川市一般会計補正予算（第２号）について

条例
- 市長等の給料の特例に関する条例の制定について
- 掛川市個人番号の利用に関する条例の一部改正について
- 掛川市税条例の一部改正について
- 掛川市都市計画税条例の一部改正について
- 掛川市スポーツ施設条例の一部改正について

人事
- 掛川市上西郷財産区管理委員の選任について　７件

議発
- テレビ難視聴地域における今後の受信環境確保に関する意見書
- 新たな木造住宅耐震化プロジェクト「新ＴＯＵＫＡＩ－０」制度を求める意見書
- 刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書

その他
- 環境保全センター解体工事請負契約の締結について
- 三俣地区盛土工事請負契約の締結について
- 防災行政同報無線設備更新工事請負契約の締結について
- 高規格救急自動車購入契約の締結について
- 特殊化学ポンプ自動車購入契約の締結について
- 市有地の処分について
- 専決処分の承認を求めることについて（令和６年度掛川市一般会計補正予算（第１号））
- 専決処分の承認を求めることについて（掛川市税条例の一部改正）
- 専決処分の承認を求めることについて（掛川市都市計画税条例の一部改正）

報告
- 令和５年度掛川市一般会計繰越明許費の報告について
- 令和５年度掛川市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について

■文教厚生委員会が賛成少数で不採択

- 小中学校給食費の無償化を求める請願書

■文教厚生委員会が賛成多数で閉会中継続審査に決定

- 訪問介護費の引き下げ撤回と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを国に働きかけることを求める請願書

■総務委員会が全会一致で採択

- 「再審法改正を求める意見書」採択に関する陳情書

■賛否の分かれた議案（賛成少数否決）

○賛成　×反対

議案名＼議員名	創世会											新しい風			SKK＊		共産＊		共掛＊		志＊
	山本裕三＊	髙橋篤仁	鷲山記世	安田彰	山田浩司	橋本勝弘	石川紀子	寺田幸弘	藤原正光	松本均	二村禮一	嶺岡慎悟	藤澤恭子	松浦昌巳	窪野愛子	山本行男	大井正	勝川志保子	富田まゆみ	鈴木久裕	草賀章吉
小中学校給食費の無償化を求める請願書	／	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×

＊議長（山本裕三）は、採決には参加しません

＊ SKK ▶市民派・公明倶楽部　共産▶日本共産党議員団　共掛▶共に創る掛川　志▶志誠会

各常任委員会の年間テーマ決定！

各常任委員会は年間テーマを決めて調査研究を行います。市当局への聞き取り、現地調査、先進地事例の研究などを進め、議会報告会で中間報告を行うとともに市民の皆さんからの意見を伺い、政策提言に向けて議論を重ねていきます。

環境産業委員会　委員長 窪野愛子

環境産業委員会の所管は、産業全般、観光、道路、公園、環境、まちづくり等です。

年間テーマ　**観光・シティプロモーションの在り方について**

本年度、観光・シティプロモーション課が新設されたことから、交流人口の拡大や地域経済活動の活性化の好機と捉え、さらなる効果的な観光・シティプロモーション施策の提言を目指し、先進地視察や市内視察を始め、担当部署との協議を重ねていきます。

総務委員会　委員長 藤原正光

総務委員会の所管は、総合計画、財政、税務、DX、上下水道、防災、消防等です。

年間テーマ　**現場に即した避難所運営の在り方について**

元日に発生した能登半島地震では、行政主導だけでなく地域住民や企業が主体となる自主避難所も多く存在しました。発災直後から開設され、住民が支援物資の分配や環境整備を行う等、現場に即した避難所運営が行われました。しかし、状況の変化や情報不足という課題も残り、適切な運営体制の構築が求められます。これらを踏まえ、今後の避難所運営の在り方を研究していきます。

文教厚生委員会　委員長 寺田幸弘

文教厚生委員会の所管は、健康、福祉、子育て、教育等です。

年間テーマ　**高齢者の幸福度向上のために**

全国的に高齢化が進み、本市でも市民の約3割を高齢者が占めています。その高齢者の幸福度を向上させることが、本市にとって重要な課題であると考えました。健康寿命の延伸、高齢者の生きがいづくり、医療や介護の充実の三点に視点を当て、提言に向けて研究を進めていきます。

現地視察

5月下旬に予算決算委員会各分科会による市内現地視察を実施しました。

総務分科会

消防本部西分署の訓練

No.	現地視察箇所	場所
1	消防本部西分署	富　部
2	共聴アンテナ受信設備	上西郷
3	公共下水道北部中継ポンプ場	城　北
4	(仮称) 大須賀防災備蓄センター (旧大須賀学校給食センター)	西大渕
5	掛川浄化センター管理棟	長　谷

環境産業分科会

清水邸の修繕箇所

No.	現地視察箇所	場所
1	吉岡大塚古墳	高　田
2	環境資源ギャラリー	満　水
3	リバティーリゾート大東温泉	国　安
4	大須賀物産センターおひさまテラス	大　渕
5	清水邸	横須賀
6	matcha KIMIKURA 掛川駅フラッグシップストア	駅北口
7	掛川駅梅橋線	領　家
8	(仮称) 掛川西スマートIC	領　家
9	自走式草刈機デモンストレーション	市役所

文教厚生分科会

さかがわ幼稚園

No.	現地視察箇所	場所
1	さかがわ幼稚園	伊達方
2	千羽すぴか保育園	千　羽
3	こども発達センターきためばえ	森　町
4	千浜小学童保育所	千　浜
5	大渕小学童保育所	大　渕

議会報告会を開催します！

議会報告会は、「市民の皆さんに開かれた議会」を目指し行っており、今年で12年目となります。

今年も下記の日程で議会報告会を開催し、年間テーマ（P4参照）に関する調査研究の中間報告を行います。市民の皆さんからご意見を伺い、市長への政策提言につなげていきます。皆さんの参加をお待ちしております。

開催日	会　場	対象地域	担当
10月22日㈫	市役所本庁4階会議室1	西中・東中学校区	1班
10月24日㈭	桜木ホール	桜が丘中・原野谷中学校区	2班
10月28日㈪	大東支所3階	大浜中・城東中学校区	1班
10月30日㈬	大須賀支所2階	大須賀中学校区	3班
11月1日㈮	掛川市生涯学習センター2階	北中・栄川中学校区	2班

班	担当議員
1班	山本行男　山本裕三　勝川志保子 藤原正光　橋本勝弘　石川紀子 山田浩司
2班	二村禮一　窪野愛子　富田まゆみ 松浦昌巳　嶺岡慎悟　髙橋篤仁 安田　彰
3班	草賀章吉　松本　均　寺田幸弘 鈴木久裕　藤澤恭子　大井　正 鷲山記世

※開催時間はすべての会場とも午後7時からです。

（報告内容は各会場同じ内容です。）

国、県へ意見書を提出

掛川市議会では、令和6年7月2日に以下の意見書の提出について全会一致で可決しました。

国へ提出

テレビ難視聴地域における今後の受信環境確保に関する意見書（抜粋）

アンテナの設置者、管理者を問わず、公共放送が地域格差なくあまねく受信できる公平性の観点から、テレビ難視聴地域に対する設備の更新、既存設備撤去費用等に係る支援制度拡充を強く求める。

県へ提出

新たな木造住宅耐震化プロジェクト「新TOUKAI−0」制度を求める意見書（抜粋）

静岡県民の命と財産を守るため、昭和56年以降平成12年以前に建築された木造住宅への耐震診断および耐震改修の補助制度を早急に新設することを強く要望する。

国へ提出

刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書（抜粋）

冤罪被害者を早期に救済するため、次の事項について刑事訴訟法の再審規定（再審法）を速やかに改正するよう求める。

1　再審請求手続の審理の適正化に資する規定を整備すること。
2　再審請求手続において、全ての証拠を開示する規定を整備すること。
3　再審開始決定に対する検察官の不服申立てを禁止すること。

一般質問 Q&A

二次元コードから各議員の一般質問の議会中継をすべて視聴することができます。

創世会
藤原正光

藤原議員のすべての一般質問が視聴できます

地域経済活性化につながる観光・シティプロモーション政策は

Q SNSの普及により、ガイドブックに載っていない地域の魅力が発見される今、観光交流客数と地域経済活性化の関係をどのように捉えているのか、見解を伺う。

観光交流客数増加と地域経済活性化策を検討する

A 観光交流客数の増加は、地域経済の活性化につながる可能性があります。市内を周遊する観光ルートや体験型コンテンツの充実、イベントの集約等により、飲食や宿泊につなげ、滞在時間を増やして消費を促す取り組みを行う等、観光交流客数の増加と地域経済の活性化を図るための施策を検討していきます。

取りまとめ部署や実施状況等を計画に盛り込んでは

Q 現在策定中の文化財保存活用地域計画や横須賀街道まちづくりビジョンと連携を図りながら「横須賀城築城450年を核とした地域活性化プロジェクト計画」を策定する考えはないか伺う。

まちづくりビジョンが策定された遠州横須賀街道沿線地区

計画策定を含め、望ましい連携方法を地域と検討していく

A 昨年度から「横須賀城跡保存活用計画」を専門家と地域の方々で策定しています。令和10年の築城450年に向け、城下町として栄えた特徴ある文化や活動が次の世代につながるよう、計画の策定を含めどのような連携が望ましいか、地域の皆さんと検討していきます。

共に創る掛川
富田まゆみ

富田議員のすべての一般質問が視聴できます

利用者の安全を最優先に施設維持管理と利用促進すべき

Q スポーツ施設は、利用者の安全を最優先に維持管理と補修を行い、利用促進を図るべきと考えるが見解を伺う。

指定管理者と連携しながら安全確保と利用促進に努める

A 多くの施設に修繕の必要箇所があり、すべてに対応することが困難な状況ですが、危険度や緊急度を踏まえ、限られた財源で安全を第一に修繕しています。より多くの方が安全安心にスポーツを行えることが最重要と考えますので、不具合箇所の早期発見と事故の未然防止を徹底し、改修と運用面の工夫を行う等、指定管理者と連携し、安全確保と利用促進に努めます。

市としてできる価格転嫁策を行うべき

Q 掛川市中小企業振興会議の中で価格転嫁について取り上げ議論していくことや、市内中小企業の実態調査を行い現状把握することが重要と考えるが、見解を伺う。

中小企業振興会議で価格転嫁の現状を把握し議論する

A 令和5年末に静岡県が実態把握のために実施したアンケート調査では、県内企業922社から回答があり、7割以上の価格転嫁が実現できた企業が約30％ある一方、1割以下の企業は約33％という状況でした。8月開催予定の掛川市中小企業振興会議で価格転嫁に関する現状把握について、議論していきたいと考えています。

【その他の質問事項】

・命を守る防災訓練について

創世会
松本 均

松本議員のすべての一般質問が視聴できます

障がい者差別解消のため条例制定が必要ではないか

Q 障害者差別解消法の改正により、令和6年4月から事業者による障がい者への合理的配慮の提供が義務化された。障がい者差別解消のため条例を制定すべきと考えるが、見解を伺う。

地域共生社会実現のため支え合える地域社会を目指す

A 障害者差別解消法では、人権尊重、共生社会の実現を目指しており、本法律を基に本市でも啓発活動等を行っています。本法律が遵守、尊重されれば、障がいのある方への差別を解消することにつながり、事業者での合理的な配慮が進むと考えます。本市では、地域共生社会の実現のために、障がいのある方が生きづらさを感じることなく、支え合える地域社会を目指していきます。

新幹線空港新駅と掛川駅の新幹線ひかり停車は

Q 県へ要望等をしっかりと物申す市長であることが、市民の思いであり、市長の責務と考える。今後の新幹線空港新駅と掛川駅の新幹線ひかり停車について、見解を伺う。

ひかり停車は歓迎。空港新駅は新幹線増便への影響を懸念する

A 国土交通省が発表したリニア新幹線全線開通後の新幹線掛川駅への停車本数1・5倍増加は歓迎すべきであり、ひかり号の停車はより望ましいと考えます。空港新駅設置は、地域防災機能強化等のメリットがある一方、JR東海は適正な駅間距離の確保が困難としており、簡単ではないと考えます。また、新駅追加により、ダイヤ構成変更の可能性が高く、新幹線の増便への影響を懸念しています。

創世会
山田 浩司

山田議員のすべての一般質問が視聴できます

学校の特別教室へエアコンの設置を

Q 気象庁によると今年も暑い夏が予想されている。特別教室のエアコン設置率は、県内では最下位の状況になった。屋内の熱中症により、子どもたちの命も心配される。学校の特別教室へのエアコン設置に関する検討状況を伺う。

効果的かつ合理的な整備を検討していく

A 「掛川市学校再編計画」に基づき、小中一貫校の整備を進めており、新設校舎には、音楽室等の特別教室へ空調設備を設置予定です。なお、小中一貫校の整備年次が遅くなる学校の既設校舎については、空調設備設置の効果的かつ合理的な整備方法について、前向きに検討していきます。

ふるさと納税の委託業務に公募型プロポーザル導入を

Q 令和3年をピークにふるさと納税の寄附額が減少している。寄附額を増加させるためのさらなる工夫の一つに、ふるさと納税の委託業務を公募型プロポーザルにかけていくべきと考えるが見解を伺う。

委託業者選定方法等、事業スキームの改善に取り組む

A 本市の返礼品は、お茶やイチゴ等の農産物が主力のため、地元の農産物の取り扱いにノウハウを有する事業者と随意契約してきました。しかし、最近は寄附者から、農産物以外にも多様な返礼品が求められていますので、公募型プロポーザルの導入について検討していきます。委託業者選定を含め、寄附金額の増額と事業スキームの改善に取り組んでいきます。

【その他の質問事項】

・地域公共交通について

市民派・公明倶楽部
窪野 愛子

窪野議員のすべての一般質問が視聴できます

市職員へのハラスメント対策の実効性と課題解決への取り組みは

Q 職場の3大ハラスメントは、パワハラ、セクハラ、マタハラだが、市役所も一事業所として、顧客からの迷惑行為を受けるカスタマーハラスメントに遭遇する機会がある。職員のハラスメント対策を伺う。

相談窓口や職員研修等、工夫を加え継続的に対応していく

A 庁内にはハラスメント相談員による相談窓口があり、必要に応じて、本人了承のもとハラスメント防止委員会により、対応を検討します。また、全正規職員が「ハラスメント防止研修」を受講しています。

今年の夏も猛暑が予想される、高齢者の熱中症対策は

Q 令和5年5月から9月までの熱中症高齢者の救急搬送者数は32人であった。今年も猛暑が予想されるが、身近な涼み処の設置等、高齢者の熱中症対策を伺う。

情報発信等により、健康被害を防ぐ取り組みを進める

A 熱中症に関するアラート発表時は、同報無線や公式LINE等で、外出を控え適切な冷房使用を呼びかけます。特別警戒アラート発表時は、市内13か所に暑さをしのぐ場所として、「クーリングシェルター」を開設します。熱中症予防の情報発信を行い、市民の健康被害を防ぐ取り組みを進めていきます。

日本共産党 議員団
大井 正

大井議員のすべての一般質問が視聴できます

市長はリニア問題で深い議論がされるよう努めるべき

Q 必要な水の約90%を大井川に依存している掛川の市長として、流域市町の首長とJR東海との意見交換会や利水関係協議会で、問題点等を明示し、科学的工学的議論がなされるよう尽力すべきと考えるが、見解を伺う。

専門部会等の議論を踏まえ、水資源確保と水質保全に取り組む

A 市長として、令和3年度以降、大井川利水関係協議会やJR東海との意見交換会等に、計12回出席しました。会議では、掛川市は古くから水に苦労してきた歴史があり、水の確保等は妥協できないことを訴え、リスク対策等について意見してきました。今後も、県の専門部会等における科学的・工学的な議論を踏まえ、水資源の確保および水質の保全に取り組んでいきます。

住宅改修に複数の支援が受けられる体制整備を

Q 高齢化対策でリフォームが必要になった際等に、様々な支援が重複して受けられるようにできないか伺う。

支援の併用が可能な場合があり、連携した案内をしていく

A 介護保険制度の支給に基づく住宅改修費のほか、木造住宅耐震補強工事の補助や、地域協働経済支援買物券事業助成があります。それぞれ改修箇所が異なり、条件を満たせば改築支援の併用が可能です。利用者に連携した案内を行い、引き続き支援の強化を図ります。

創世会
髙橋 篤仁

髙橋議員のすべての一般質問が視聴できます

子育てと仕事の両立に苦慮する家庭の保育環境改善を

Q 入所保留者がいる環境を改善するべきと考えるが、見解を伺う。

より多くの方が希望園へ入園できるよう進めていく

A 令和6年度の利用定員は3,241人で、入所希望者2,829人を上回る定員を確保しています。令和6年4月に新規入園された532人のうち、9割を超える方が希望園に入園されました。なお、国定義待機児童ゼロの一方、特定の園のみを希望する方等がいるため、94人の方は入所保留となっています。今後は保育士確保策のさらなる充実や既存施設の利用定員変更等のソフト対策により、より多くの方が希望園等に入園できるよう進めていきます。

南部の浄化センターにおけるリスクの軽減を図るべき

Q 防災ガイドブック上、津波浸水域にある南部の浄化センターの移設について見解を伺う。

移設は考えていない。防潮堤の早期完成に努力していく

A 浄化センターの建設場所は、対象区域の居住状況や建設投資額等を総合的に判断して選定しています。また、浄化センターと各家庭等を結ぶ下水道管を排水が自然に流れるよう設計する等、効率的に汚水処理ができる場所に浄化センターを建設しています。現在、大東と大須賀の浄化センターの移設は考えていないため、防潮堤の早期完成に向け引き続き努力していきます。

日本共産党
議員団
勝川志保子

勝川議員のすべての一般質問が視聴できます

平日も含めた部活動の地域クラブ移行は本当に妥当か

Q 市は、2年後に中学校部活動を完全廃止し、地域クラブに移行する方針である。家庭の経済的、物理的負担増を前提とする地域移行は、子育て支援と相反しないか。

一定のご負担等は、ご理解いただきたいと考える

A 部活動の地域展開は、子どもたちの多様な価値観に応えるために進めており、方針に相反しないと考えます。一定のご負担等については、ご理解をいただきたいと考えます。就学援助についても検討していきます。

ニーズに沿った学童保育整備に市が責任を持って

Q ニーズの高い学童保育は法律に沿った6年生までの受け入れができる施設整備を学校再編時まで先送りせず、責任を持って早急に行なうべきではないか。

計画との整合を図り、最適な手法で柔軟に対応していく

A 学校再編計画との整合を図り、学校との複合化や公共施設活用、施設増設等の最適な整備手法により柔軟に対応していきます。近年では、余裕教室の改修等により保育場所を確保し、今年度、中央小学童保育所は、借家物件により3か所目の運営を開始しました。

【その他の質問事項】

・命を慈しむ動物愛護の精神が息づくまちにするために

創世会
鷲山記世

鷲山議員のすべての一般質問が視聴できます

ダイバーシティ戦略室の取り組みとは

Q 令和6年度からダイバーシティ戦略室ができたが今後どのような取り組みをするのか伺う。

DE&Iを市全体の協働の取り組みとして展開していく

A DE&Iをまちづくりの根幹、最も大切なテーマの一つに位置付け、今後、全職員向け研修やDE&Iをベースとした全庁改革を進めます。また、市民、企業、団体、学校と連携し、ワークショップ等対話の機会を広げていきます。情報発信や施策を強化し、DE&Iが身近なテーマとなり自分事としていただけるよう、市全体の協働の取り組みとして展開していきます。

※DE&I…ダイバーシティ（多様性）・エクイティ（公平性）&インクルージョン（受容・包摂）。すべての人が自分らしく安全に安心して能力や特性を最大限に発揮できること。お互いの違いを尊重し、強みを活かしあえること。

不登校児の放課後等デイサービス利用に向けて

Q 令和6年度から不登校児も放課後等デイサービスを利用できるようになった。不登校児の対応について、市は関係各所と連絡を取り、利用できるようにすべきと考えるが見解を伺う。

それぞれの状況に十分配慮した上で制度の活用を勧める

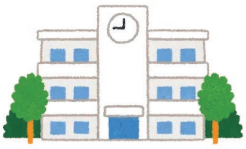
A 令和6年4月に放課後等デイサービスは、不登校の状態にある障がい児も利用できるよう改正されました。国の通知では、サービス利用について、事業所が保護者の同意を得た上で、学校と緊密な連携を図りながら支援を行う必要があるとされ、一方的に支援を行うことは想定していないとされています。そのため、市としては、それぞれの状況に十分配慮した上で、これらの制度の活用を勧めていきます。

新しい風
嶺岡慎悟

嶺岡議員のすべての一般質問が視聴できます

原野谷学園小中一貫校のメリットは

Q 令和7年度に原谷小学校と原田小学校が統合し、それ以降の新入学児童は単学級となるが、数十億円という莫大な予算をかけて小中一貫校を新設するメリットを伺う。



異年齢集団による教育活動や課題の解消

A 教育的側面として、児童、生徒、教員が同じ施設にいることで、小中の連携を生かした多様な教育活動が可能になります。例えば、小学校低学年までの教科担任制の充実や、小規模中学校での免許外教科担任の解消を図ることができます。また、これまで以上に異年齢集団による教育活動の展開もできます。さらには、全国的な問題となっている不登校等の課題解消に役立つと考えています。

栄川学園小中一貫校のビジョンは

Q 栄川中学校区の未就園児の児童数は、現時点でも一学年20人程度だが、栄川学園についてどのようなビジョンを持っているのか伺う。

栄川学園を単独で維持していくか検討していく

A 計画では、栄川学園の再編検討に着手するのは第2期、令和15年度以降となっています。今後、日坂小学校と東山口小学校は児童数減少が見込まれるため、栄川学園を単独で維持していくかについては、検討する必要があると考えています。

共に創る掛川
鈴木久裕

鈴木議員のすべての一般質問が視聴できます

相続登記漏れを防ぐための市独自所有情報提供サービスは

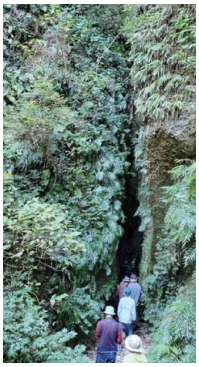
Q 令和6年4月1日から相続した不動産の登記が義務化された。課税、非課税にかかわらず、名寄せ帳等で地番、地積、持ち分等を見られるようにする市独自のサービス提供は考えられないか。

所有者間の持ち分情報等の共有化の必要性を啓発していく

A 相続登記漏れは、所有者不明土地等の発生につながり、管理不全による防災や防犯の課題が懸念されるため、共有名義の登記情報を市役所で見られることは効果があると思います。しかし、サービス開発は経費増大等の理由により現段階では困難なため、個々の問い合わせへの対応を継続し、相続登記の啓発、所有者間での持ち分情報等の共有化の必要性を啓発していきます。

小笠山の「六枚屏風」を天然記念物に指定すべきでないか

Q 小笠山の「六枚屏風」は、その珍しい景観ゆえに小笠山への多くのハイカーが訪れる、まさに名勝であり、このような地形は全国的にも珍しいとのことである。保全活用のためにも天然記念物として指定すべきではないか。



六枚屏風の入り口付近

専門家の現地調査により価値を明確にし、指定を検討していく

A これまで、小笠山は文化財の視点で稀有な景観や豊富な動植物等の専門的調査を行っていません。まずは専門家による現地調査を行い、文化財的な価値を明確にした後、指定について検討していきます。

【その他の質問事項】

・地域新電力会社「かけがわ報徳パワー（株）」の現状と方向性について

今後の議会予定

※7月3日現在の予定です。今後変更される可能性があります。

8月

16日(金)9:00 ○全員協議会
30日(金)9:30 ○本会議(開会、議案の提案説明)

9月

6日(金)9:00 ○予算決算委員会
9日(月)9:00 ○本会議(一般質問)
10日(火)9:00 ○本会議(一般質問)
11日(水)9:00 ○本会議
(一般質問、議案質疑～委員会付託)
本会議終了後 ○予算決算委員会
13日(金)9:00 ○予算決算委員会分科会
17日(火)9:00 ○予算決算委員会分科会
18日(水)9:00 ○予算決算委員会分科会
19日(木)9:00 ○部門別常任委員会
25日(水)9:00 ○予算決算委員会
30日(月)9:30 ○本会議
(委員長報告、質疑、討論、採決、閉会)

10月

18日(金)9:00 ○全員協議会

傍聴席

応援する議員が質問をするから傍聴にと言われ、答弁側の市長も早3人目。その間に議員も当然変わっている。市長から、いかにハッキリと答弁を得られる質問ができるかが議員の資質だ。検討します等の答弁は、やりませんと一緒だから、市民側の議員として、検討以外のやる気のある答弁を引き出す鋭い質疑応答により議会も盛り上がる。そのような時は、ついつい頷いてしまう。応援する議員の質問に対して、市長が最近になく全問回答で、これは、なかなか傍聴していて市議会の質疑応答に引き込まれる熱いものがあった。県議会も傍聴するが、やはり身近な市議会に足を運んで市議会での真剣なやりとりを傍聴することにより、自分の応援している議員が、いかに真剣に市民のために動いているか分り、選挙の時には大変参考になると思われる。

鈴木繁雄（初馬区）

今号の表紙

今号の表紙は、静岡県立掛川工業高校グラフィックアート部の皆さんの作品です。
「掛川市の茶畑と自然を題材に表紙のタイトルをデザインしました。作品には、緑豊かな掛川市の美しい自然を守っていきたいという思いを込めました。」

グラフィックアート部の皆さん

上内田区域マンホールのふた

編集後記

今号は常任委員会の年間テーマや補正予算、一般質問等を取り上げました。

5月には予算決算委員会で現地視察を行いました。議決した予算がどのように使われているのか、市の主要事業の現状等を確認する大切な視察です。

議会が、どのようなことに取り組んでいるのかを、より多くの方に知っていただくために、ぜひ手に取ってご覧いただければ幸いに存じます。

議会だより
編集特別委員会
鷲山記世

令和6年8月1日
編集/発行 掛川市議会 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1 ☎0537(21)1160 https://www.city.kakegawa.shizuoka.jp
※この市議会だよりは、FSC®認証用紙を使用しています。